

## 朝倉氏略年表

- 建武元(1334)年 斯波高経、越前守護となる。
- 延元2(1337)年 朝倉広景、高経に従い但馬より越前へ入国する。
- 貞治5(1366)年 朝倉高景、越前で7ヶ所の地頭職を得る。
- 長祿3(1459)年 朝倉孝景(戦国初代)、守護派と守護代派による和田合戦で、守護代方として奮闘。守護代方が勝利する。
- 応仁元(1467)年 応仁の乱始まる。孝景、西軍に加わり活躍。
- 文明3(1471)年 孝景、東軍につき、越前守護職について認められる。
- 文明7(1475)年 孝景、甲斐氏を追放し越前を平定する。
- 文明13(1481)年 孝景没し、氏景(戦国2代)づく。
- 文明15(1483)年 氏景、越前守護代となる。
- 文明18(1486)年 氏景没し、貞景(戦国3代)づく。
- 永正9(1512)年 貞景没し、孝景(戦国4代)づく。
- 天文17(1548)年 孝景没し、義景(戦国5代)づく。
- 永祿8(1565)年 松永久秀ら、將軍足利義輝を殺害。
- 永祿10(1567)年 足利義秋、朝倉氏を頼り一乗谷安養寺へ移る。
- 永祿11(1568)年 義秋、元服し義昭と名乗るが、織田信長を頼り一乗谷を去る。信長、義昭を奉じて上洛。
- 元亀元(1570)年 信長、越前に侵攻し退却する。朝倉・浅井連合軍が、近江姉川で織田・徳川軍と対決し、京へ進攻するも、和議により撤兵する。
- 元龜3(1572)年 信長、近江の浅井長政を攻める。義景、小谷城に入り、応援する。
- 天正元(1573)年 信長、將軍義昭を追放、室町幕府は事実上滅亡。義景、浅井氏救援に近江へ進出するも、敦賀刀根坂の戦いで信長軍に敗れる。義景、一乗谷を放棄し大野に逃れ自刃。朝倉氏は滅亡、一乗谷は信長軍が放った火により焼亡する。

## 驚くほど豪華! 美食に彩られた華麗な一乗谷の食生活

当時、日本を代表する文化都市といわれた一乗谷で、武士たちはどのような食事をしていただろうか。

義景館の発掘で、堀の堆積土の中の花粉分析を行った結果、朝倉氏時代の土層からは、多量の粉類と炭化物、稲花粉が検出され、稲の実をつき、米を主食としていたことは確かなようです。グリ属、サンショウ属、ソバ属の花粉も確認されています。

武家屋敷のトイレでは、雑穀類、米、大麦、ソバ、ミズアオイ属、ウリ、ナスなどの野菜類、木苺属、クワ属が検出され、これらが食用だったことが分かっています。

また、一乗谷から出土した考古資料からは、武士たちがマダイやホウボウ、ブリなどの高級魚や、サザエ、カキなどの貝類、雁鴨類、鹿などを用いた豪華な料理を普段から食べていた様子がうかがえます。

海から離れた一乗谷で、どのようにして魚介類を手に入れたのでしょうか?古文書によれば、織豊政権下の北庄には「魚屋」があったようですから、一乗谷の住人も魚屋を通じて豊富な海産物を恒常的に入手していたと考えられます。

食器は、陶器類のほか、「海風腸」など海産の珍味を入れる精巧な作りの曲物桶、白木の膳や漆桶、太鼓樽の栓などが出土しており、高度な食文化がうかがえます。北陸道や朝倉街道、足羽川などを使って海・山・里から様々なものを仕入れ、多彩な料理で客人などとともに食を楽しんでいた朝倉氏。しかし、朝倉家の祖先は、その昔、海でアワビに助けられ、そのアワビを持ち帰り奉納したという言い伝えがあり、歴代の朝倉氏は、「アワビ」は食べなかったようです。

なお、特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡には、朝倉氏の氏神「赤淵大明神(「アワビ」がご神体)」を祀る赤淵神社の跡があります。

### 朝倉膳



朝倉義景が足利義昭の元服を祝って接待した17の膳から1の膳、2の膳を再現。今もこの地に伝わる郷土料理に、当時の豪華さがしのべれます。10名以上から受付可、1週間前に要予約。

●お問合せ  
一乗ふるさと料理クラブ  
TEL:090-6816-6992

### 朝倉氏も食していた?

## 平家伝説とともに伝えられている 「河内赤カブ」

福井市味見河内町(旧美山町)で栽培されている「河内赤カブ」は福井県の伝統野菜の一つで、平家伝説とともに伝えられています。

現在は焼畑栽培という特殊な方法で育てられており、当時と変わらないふくらとした形、鮮やかな赤色、そして、ほろ苦く、なんとも奥深い味を楽しむことができます。

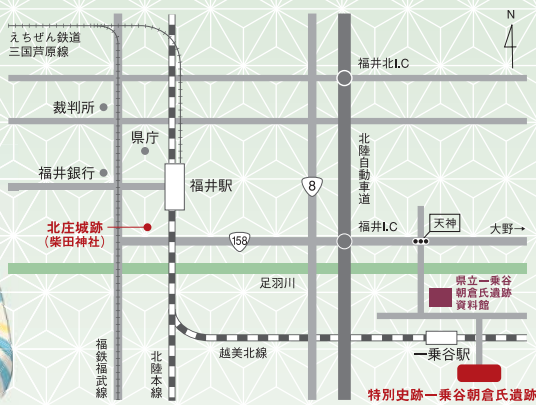
当時の朝倉氏も「河内赤カブ」を食していたのではないのでしょうか。



日本の三大紅カブの一つである「河内赤カブ」。本来の美味しさを味わうなら漬物が一番。酢漬けにすると真っ赤になり、シャキシャキした歯ごたえとほんのりした甘さが魅力です。

●お問合せ  
河内赤かぶら生産組合(西川誠一さん)  
TEL:0776-93-2063

バス、電車はかなり少なめ…(泣)。タクシーだと、JR福井駅前から約20分です。



- 交通機関**
- 電車/JR福井駅(越美北線)→(電車15分)一乗谷駅下車 資料館まで徒歩5分(資料館に無料貸出自転車あり)
  - バス/京福バス福井駅前乗り場⑨(東郷線)→(バス25分)朝倉氏遺跡資料館前
  - 自動車/北陸自動車道福井IC→国道158号線→(ICから車10分)朝倉氏遺跡  
東海北陸自動車道白鳥西IC→国道158号線→(ICから車60分)朝倉氏遺跡

県内の公共交通機関の情報は、「はす・てんしゃナビふくい」をご覧ください。



[発行]  
一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会  
(事務局 福井県教育庁文化課)  
福井市大手3丁目17-1  
TEL.0776-20-0580

### もっと朝倉氏を知りたいときは、こちら

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 TEL.0776-41-2301  
HP: <http://www.pref.fukui.jp/doc/asakura/index.html>

福井市一乗谷朝倉氏遺跡管理事務所 TEL.0776-41-2173  
社団法人朝倉氏遺跡保存協会 TEL.0776-41-2330  
HP: <http://www3.fctv.ne.jp/~asakura/>

- 交通アクセス**
- 東京から  
J R/東海道新幹線・北陸線特急…約3時間30分  
飛行機/羽田-小松空港-福井(バス)…約2時間  
自動車/東名・名神・北陸自動車道…約6時間30分
  - 大阪から  
J R/湖西線特急…約1時間50分  
自動車/名神・北陸自動車道…約3時間
  - 名古屋から  
J R/北陸線特急…約2時間  
自動車/名神・北陸自動車道…約2時間  
東海北陸自動車道白鳥IC経由…約3時間



### もっと福井を知りたいときは、こちら

福井県観光情報「ふくいドットコム」  
HP: <http://www.fukui-e.com/>

福井市の観光情報を発信「ふくいCityナビ」  
HP: <http://www.fukuicity-navi.com/>

